

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公開番号】特開2014-198105(P2014-198105A)

【公開日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-058

【出願番号】特願2013-74439(P2013-74439)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月20日(2016.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の可動体と、

前記複数の可動体が可動しているとき、当該可動している複数の可動体の停止順序によって付与する特典の度合いが異なる押下対応役が少なくとも含まれた当選役の中からいずれの当選役にするかを抽選する当選役抽選手段と、

前記複数の可動体のそれぞれに対応して設けられた複数の停止操作手段と、を備え、

前記当選役抽選手段によって前記当選役を決定し、該決定された当選役に基づいた図柄組合せが所定の表示領域に表示されるゲームが行われる遊技機であって、

前記ゲームにおいて前記複数の停止操作手段の操作が特定の操作順序条件が定められている操作順序とは異なる操作順序で行われると、現在行われている当該ゲームよりも不利な不利遊技状態へ移行させ得る不利遊技提供手段と、を備え、

前記不利遊技提供手段によって前記不利遊技状態へ移行させた該不利遊技状態は、予め定められた所定の解除条件が満たされるまでのゲームにおいて維持されるものであり、

前記不利遊技状態に制御中であっても前記当選役抽選手段によって前記押下対応役が選び出された場合には、当該押下対応役に対応した遊技者に有利な前記複数の可動体の停止順序を教示する不利遊技中指示実行手段と、

前記不利遊技中指示実行手段によって教示された前記複数の可動体の停止順序に従って前記複数の停止操作手段が操作されると、前記不利遊技状態を終了させることを可能とした復帰判断手段と、

前記不利遊技提供手段によって前記不利な不利遊技状態へ移行させた場合であっても、当該不利遊技状態による不利益が遊技者に与えられることなく直ちに当該不利遊技状態の終了を可能とした早期復帰手段と、を備え、

前記不利遊技提供手段は、前記異なる操作順序によって前記複数の停止操作手段の操作が行われたときであったとしても前記所定の表示領域に表示される図柄組合せが特定の図柄組合せであった場合には前記不利遊技状態への移行が回避されるように成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

前述した特許文献1のような所謂A T等は、所定の操作を行わないと遊技者に不利な遊技状態に制御されることが多く、前述した所定の操作とは異なる操作が行われると、故意でなくても遊技者が不利益を被る恐れがあり、以後の遊技意欲を減退させてしまうという課題があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで、本発明は、既述の遊技意欲の減退を抑制し得る遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記目的を達成するために、本発明は、複数の可動体と、前記複数の可動体が可動しているとき、当該可動している複数の可動体の停止順序によって付与する特典の度合いが異なる押下対応役が少なくとも含まれた当選役の中からいずれの当選役にするかを抽選する当選役抽選手段と、前記複数の可動体のそれぞれに対応して設けられた複数の停止操作手段と、を備え、前記当選役抽選手段によって前記当選役を決定し、該決定された当選役に基づいた図柄組合せが所定の表示領域に表示されるゲームが行われる遊技機であって、前記ゲームにおいて前記複数の停止操作手段の操作が特定の操作順序条件が定められている操作順序とは異なる操作順序で行われると、現在行われている当該ゲームよりも不利な不利遊技状態へ移行させ得る不利遊技提供手段と、を備え、前記不利遊技提供手段によって前記不利遊技状態へ移行させた該不利遊技状態は、予め定められた所定の解除条件が満たされるまでのゲームにおいて維持されるものであり、前記不利遊技状態に制御中であっても前記当選役抽選手段によって前記押下対応役が選び出された場合には、当該押下対応役に対応した遊技者に有利な前記複数の可動体の停止順序を教示する不利遊技中指示実行手段と、前記不利遊技中指示実行手段によって教示された前記複数の可動体の停止順序に従つて前記複数の停止操作手段が操作されると、前記不利遊技状態を終了させることを可能とした復帰判断手段と、前記不利遊技提供手段によって前記不利な不利遊技状態へ移行させた場合であっても、当該不利遊技状態による不利益が遊技者に与えられることなく直ちに当該不利遊技状態の終了を可能とした早期復帰手段と、を備え、前記不利遊技提供手段は、前記異なる操作順序によって前記複数の停止操作手段の操作が行われたときであったとしても前記所定の表示領域に表示される図柄組合せが特定の図柄組合せであった場合には前記不利遊技状態への移行が回避されるように成されていることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、遊技意欲の減退を抑制し得る遊技機を提供することができる。